

2025年度リフレクション入試・面接重視型の課題文の課題（法律学科）

○課題の内容

法律学科では、アドミッション・ポリシーの(2)で「高等学校等において、法学・政治学を学ぶ上で特に必要となる公民科、地理歴史科に関心を持ち学習に積極的であること」を求めています。そこで、あなたが高校生活の3年間で、上記の科目の勉強を通じて、法律や裁判、政治や行政に関することのなかで特に関心をもった一つの事柄をとりあげ、①その事柄の内容、②それに関心をもった理由、③その事柄についてのあなたの意見、の三点を書いてください。字数は、全体で1000字程度とします。

試験当日の面接では、課題文の内容について修正・追加があれば、まずそれについて報告してもらいます。報告の方法については、面談の時に指示します。その報告が終わったあと、面接担当者から質問を行います。

なお、試験当日の面接では、課題文のコピー、課題文の作成のために利用した書籍、雑誌等の面接室への持ち込みを認めます。

○文章を書くにあたって

・公民科、地理歴史科の学習については、教科書による学習だけではなく、ニュース、ドキュメンタリー、書籍、雑誌、インターネットサイトなど、さまざまな情報源を利用しながら行われることを想定しています。したがって、「課題の内容」で示した「上記の科目の勉強を通じて、法律や裁判、政治や行政に関することのなかで特に関心をもった一つの事柄」についても、様々な情報源のなかから選んでもらって構いませんし、文章を書くにあたって、様々な情報源を利用して構いません。

・とりあげようとする事柄が、今回の課題にふさわしいかどうか不安に感じる場合には、事前面談の機会に、あるいは、札幌学院大学広報入試課 (nyusi@ims.sgu.ac.jp)にメールで問い合わせてください。そのときは、メールのタイトルは必ず「法律学科・面接重視型の題材に関する質問」としてください。いただいた質問については、法律学科の担当者から回答します。

・課題文の作成のために利用した書籍、雑誌等については、文章の最後に「参考資料」欄を設け、そこに列挙してください。「参考資料」欄は、上記の字数制限の枠外とします。